

ぎふ感染症かわら版

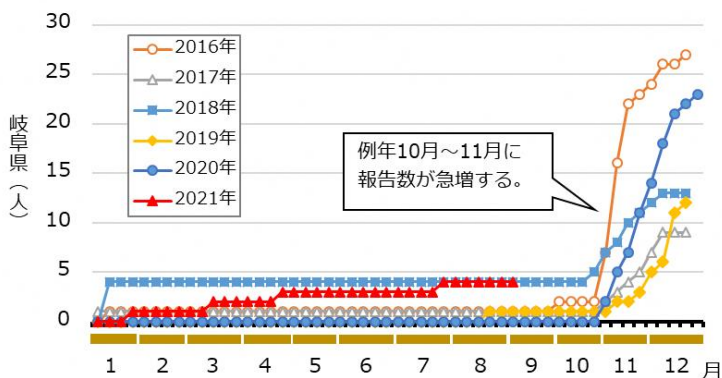


令和3年9月27日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

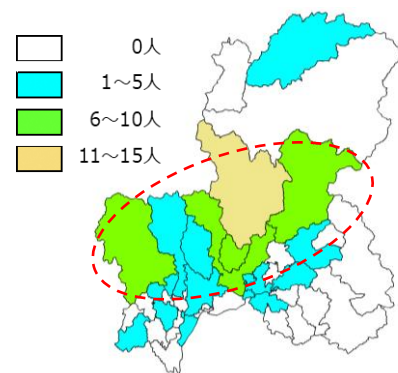
秋（10月・11月）は、ツツガムシ病に注意しましょう！

ツツガムシ病は、ダニの一種ツツガムシによって媒介される感染症です。岐阜県では例年10月から11月にかけてその発生報告数が急増するため、ツツガムシが生息する田畑や山林、草むらなどで活動する際は、肌を露出しないなどの感染予防対策を行いましょう。また万一これらの場所で活動した数日後に高熱が出て発疹がみられる場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。

ツツガムシ病の発生報告数（累計）



ツツガムシ病患者の推定感染地域（2016年以降の累計）



岐阜県は全国的にみてツツガムシ病に感染する人が比較的多く、2016年以降では年平均約17人の発生報告があります（全国平均は約10人）。県内の広い範囲で患者が発生していますが、県中央部の下呂市から揖斐川町に亘る地域で感染する人が多くなっています。

ツツガムシ病ってどんな病気？

ツツガムシ病リケッチアという病原体によって起こる感染症です。一部のツツガムシ（全体の0.1~3%）がこの病原体を持っており、その幼虫に吸着される（刺される）ことで感染します。感染すると5~14日後に高熱を伴って発症し、皮膚には特徴的なダニの刺し口がみられ、その後数日で体に発疹がみられるようになります。

有効な抗菌薬があるので、早期に治療が行われると症状は改善しますが、遅れると死亡することもあります。そのため、右記の活動をした数日後に上記の症状が出た場合は、速やかに医療機関を受診してください。

感染予防のために行っていただきたいこと

右記の活動する際は、次のような対策をしましょう。

こんな時に注意！

- ・畑仕事 ・山での作業
- ・庭仕事 ・草刈り
- ・山の散策や散歩



- 長袖・長ズボンなどを着用し、肌を出さないようにする
- 外から帰ったら入浴して身体を洗い流す
- 脱いだ衣類はすぐに洗濯する

病原体を持ったツツガムシの幼虫は体長0.2ミリほどです。肉眼ではほとんど見えません。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

